東京理科大学における内部質保証と教学の連関図

大学

建学の精神
教育研究理念

長期ビジョン
5か年中期計画
単年度事業計画

反映 / 検証

教学に関する大学の意思決定組織

大学の教育研究に関する重要事項を審議
＜教育研究会議＞　＜学長室会議＞

教学IRによる施策支援

教学に関する全学の企画・実施を担う組織

教育支援機構、学生支援機構、国際化推進機構
└ 教育DX推進センター

教学に係る全学の施策の企画・実施、その状況や成果等を点検、評価し、改善を実行。

議長

学　長

報告

自己点検・評価の実施、改善活動実施の指示

報告

大学質保証推進委員会

企画、自己点検・評価の実施結果の点検及び調整、改善事項の監理を行い、内部質保証推進に責任を負う組織
主な役割：
○内部質保証の方針策定
○自己点検・評価に係る「基本方針の策定」「点検及び調整」「改善の監理」「結果の公表」　等

〈委員会〉改善の指示
〈部局〉計画提出 改善報告

報告書精査 改善報告精査

【公表】
改善報告
改善事項
自己点検・評価報告書

連携

〈委員会〉点検・評価実施の指示
〈部局〉報告書提出

自己点検・評価委員会

自己点検・評価の実施を担う組織
主な役割：
○自己点検・評価に係る「実施方針の策定」「項目及び実施体制の決定」「促進及び啓発」「取りまとめ」　等

報告書作成
要改善事項取りまとめ

意見聴取 実行指示
意見表明 実行報告

教育課程における具体化

教育課程

人材育成に関する目的
教養教育の目標
専門教育の目標
学部・研究科の目標
3つの方針(ﾎﾟﾘｼｰ)
実力主義

反映 / 検証

教学の実行及び改善を行う組織
＜学部・研究科・教養教育研究院＞
・教授総会、研究科会議　等

○教学施策の実行
○目的、目標、教育課程、教育環境(施設設備等)、教員組織等の検証、整備
○自己点検・評価の結果を受けての検証、改善活動の実施

点検・評価活動の実施組織
全学部・研究科、教養教育研究院に「**自己点検・評価実施委員会**」を設置し、当該委員会が各部局の自己点検・評価活動の中心となる。

施策実行
施策改善

教学に係る全学の施策

○教育課程の編成
・教育課程編成・実施の方針に基づく科目設置
・TUSくさび形の教養教育カリキュラム
・科目ナンバリング
・初年次教育、キャリア教育
・シラバス作成要項（全学統一の作成基準）
○教授法の開発
・教育(教育支援)コンテンツ
・授業のデジタルコンテンツ（教材）化
・FD活動
○履修、成績評価に係る制度
・単位制度の厳格化（CAP制度）
・GPA制度
・成績評価の基準
○学習支援
・退学者、原級者減少への取り組み
・授業外学習時間の増加（単位の実質化）
○学習成果の測定、教育に係る評価
・学習成果の可視化と分析
・新入生学修到達度測定Webテスト
・学修状況アンケート
・授業改善のためのアンケート
・卒業予定者アンケート　など

実施結果

教育施策の検証
3つの方針の検証

アセスメント・ポリシー

卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針の検証・評価

検証に用いる指標
○教育課程の編成
・科目系統図
・履修モデル
・シラバスの記述内容
○教授法の開発
・教育(教育支援)コンテンツ活用状況
○履修、成績評価に係る制度
・成績評価の分布状況
・単位修得状況
・GPA
・進級、原級、卒業・修了率
○学習支援
・退学者、原級者の動向
○学習成果の測定、教育に係る評価
・学修ポートフォリオ
・TUSルーブリック
・各種のアンケート結果
○学生との意見交換
など

学科・専攻(教養教育、専門教育)の教育課程における具体化

教養教育、専門教育の実施組織(学科・専攻等)における教育・改善活動
教育課程を検討し、科目系統図、履修モデル、科目ナンバリングにおいて具体化

授業科目

授業科目における具体化

授業実施方針
シラバス作成要項
成績評価の方針
単位の実質化

反映

個々の授業設計と改善(授業担当教員による)
○教育課程の編成に沿った授業の設計
○授業アンケート等を踏まえた改善
・到達目標の設定
・授業内容の設計
・予習、復習方法の検討
・教材、教授法の検討
・成績評価方法の設定

シラバスによる明示

実施

授業(教育)の実施
○授業科目にマッチする手法の活用
・アクティブラーニング
・反転授業
・オンライン授業
・ICTの活用
・教育支援コンテンツの活用
⇒学生の学習成果を評価（成績評価）

実施結果

個々の授業で検証に用いる指標
・成績評価状況
・単位修得率
・課題等の出来栄え
・授業改善のためのアンケート

FD活動で得た知見

授業改善